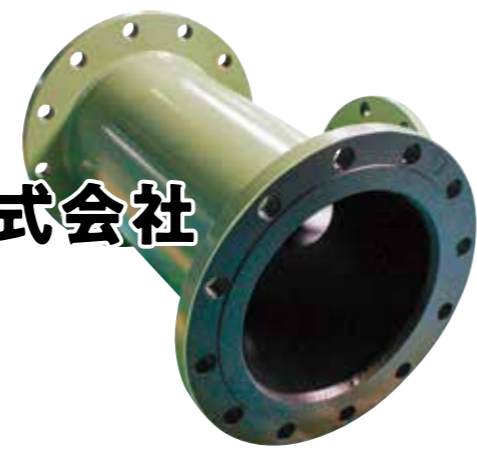


沖縄コーテック工業株式会社



沖縄県ものづくり サプライチェーンの立ち上げ

沖縄には高い技術を持った塗装会社がほとんどなく、金属関連業界にとっては成長や進出の足かせになっていた。それを打開するため県内に設立された当社は、広い工場内に塗装ラインを整備するとともに、補助金を活用して塗装ブースを設置した。

課題

■ 県内に本格的な塗装会社がないことがネック

事業のきっかけ

県内には本格的な塗装を行う会社がほとんどない。板金会社が行っていたり、屋外で塗装したりしているのが実状だ。そのため、大型の金属製品を本土で塗装して運んで来るのを得ずコストがかかっている。一方で、本土から進出する企業が増えているが、金属加工などを手掛ける会社が進出しようとしても、塗装がネックとなってあきらめることもある。つまり本格的な塗装のニーズがあるものの、対応できる会社がないことが金属関連業界にとって足かせになっているのである。そこで、地元の製鉄会社から、静岡県内で塗装事業を行っている当社の親会社に相談があり、沖縄に塗装会社を設立したものである。

成果

■ 高品質かつ短期間で仕上がるので受注が順調

事業の取り組み～成果

前述のように屋外で塗装作業を行うと天候に左右されるなど作業効率が悪く、品質も安定しない。当社では広い工場内に塗装ラインを設置した。このラインではまずショットブラストという表面処理を行い、ドロップリフターで商品を吊り下げて移動しながら、塗装、セッティング、乾燥を行っていく。補助金を活用して導入した塗装ブースはこのラインの中にあり、内部で溶剤や粉体を使った焼付塗装が行われる。外気の影響を受けないので品質が安定し、しかも排気も管理されているので環境に悪影響を与えない。もちろん天候も関係ないので納期を短縮できるようになり、多くの発注をいただいている。

展望

■ 売上増を図り、リメイクや電気自動車も手がける

今後の展望

当初の想定通り県内企業の需要は多く、売上げが着実に増えている。まずは1億円突破を目指したい。また、既存の機械を解体して当社の工場に搬入し、放熱塗料や特殊コーティングを施して再度組み立てるというリメイクにも需要があると見ているので、その掘り起こしにも力を入れていきたい。ほかにもすでに手がけている事業として、リゾートホテルなどで移動に使用する電気自動車の塗装がある。こうした車の外板に使われるFRPを美しく塗装し、量産するために当社の技術を活用してもらっている。これは部品単位で当社の塗装ブースで塗装を行っており、完了後に組み立てるように沖縄県の経済発展のために努力していきたい。

ラインの中央部に位置する箱状の設備が塗装ブース



塗装ブースの内部



塗装工程に入る前に技術的な打ち合わせをする

Q 御社の**モットー**を教えてください

A お客様第一。そのために自分たちのスキルを上げ、そして人生を楽しもう。



代表取締役社長
大貫 隆弘 さん



主任
勝間田 裕樹 さん

つむぐ × つなぐ 今後の取り組みについてお聞かせ下さい。

大貫さんビジョン

エポキシ樹脂で塗装した鉄筋の普及に力を入れていきたい。コンクリート構造物内の無塗装鉄筋は塩分によって膨れ、そのせいでコンクリートが割れてしまうことがある。エポキシ樹脂で塗装すると100年程度の耐久性を持たせられることがわかっているので、特に海に近い場所では有用性が高いと考えている。

勝間田さんビジョン

自分は静岡にある関連会社から技術支援に来ている。沖縄には自分たちがやってきたような本格塗装の経験者がほとんどいないので、今まで培ってきた技術を伝え、地元の人たち自身の力で利益を出すようになってほしい。いずれ静岡に戻る予定だが何年かしてまた来たときにそうならいれればいいと思う。

金属製品製造業

沖縄コーテック工業株式会社

〒901-2403
沖縄県中頭郡中城村字伊舎堂 354-22
tel.098-988-0606 fax.098-988-0608

代表者名	代表取締役 大貫 隆弘	設立	平成28年5月
資本金	2,500万円	従業員数	5人